

新刊書

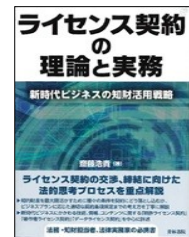
 青林書院

ライセンス契約の理論と実務

-新時代ビジネスの知財活用戦略-

齋藤 浩貴 著

A5判・並製カバー・334頁・定価（本体価格4,400円+税）



ライセンス契約の交渉、締結に向けた法的思考プロセスを重点解説。

●知的財産を最大限活かすために種々の条件を契約にどう落とし込むか、ビジネスプランに応じた適切な契約条項策定までの考え方を丁寧に解説。●新時代ビジネスにかかわる技術、情報、コンテンツに関する「特許ライセンス契約」「著作権ライセンス契約」「データライセンス契約」を中心に詳述法務・知財担当者、法律実務家の必携書。

本書の内容

第1章 ライセンス契約の基礎

第2章 デジタル著作物のライセンス

第3章 データライセンス契約

第4章 知的財産の創出取引とライセンス

第5章 外国企業とのライセンス契約

第6章 標準必須特許とライセンス

近時のめざましい情報技術の進化によりデジタルコンテンツやデータの利用価値が高まる中で、知的財産の適切な管理と活用が企業戦略にとって重要な柱となっていて、その中核を担うのが「ライセンス契約」です。

契約は知的財産の利用を許諾することを目的とする典型的なものだけでなく、共同研究開発取引、ソフトウェアの開発委託取引、コンテンツの共同制作取引など、創出される知的財産の許諾条件としてライセンス契約がカバーする範囲は広範囲に及びます。本書は、知的財産を最大限に活用するために、種々の条件を契約条項の中にどう落とし込み表現するか、ビジネスプランに応じた適切な契約条項策定までの考え方、契約の交渉方法、締結に向けた法的思考プロセスを理論と実務から重点的に解説したものです。「ライセンス契約の基礎」（第1章）から始め、

「デジタル著作物のライセンス」（第2章）、「データライセンス契約」（第3章）、「知的財産の創出取引とライセンス」（第4章）、「外国企業とのライセンス契約」（第5章）、「標準必須特許とライセンス」（第6章）に編成して、新時代ビジネスの知的活用戦略について実践的なガイダンスを提供しています。

様々な個性を有する知的財産について、様々な関係性を有する企業間において、様々なビジネスプランの下に交渉されるライセンス契約は、それぞれの個性に応じて、両当事者が契約の対象となる取引によって実現しようとしている価値を正しく理解し、適切な条項を考案していく必要があります。弁護士業務にとって、本書はライセンス契約を締結し取扱う事業者の悩みを解決し、相談や紛争に対処するために裨益する解説書となっています。